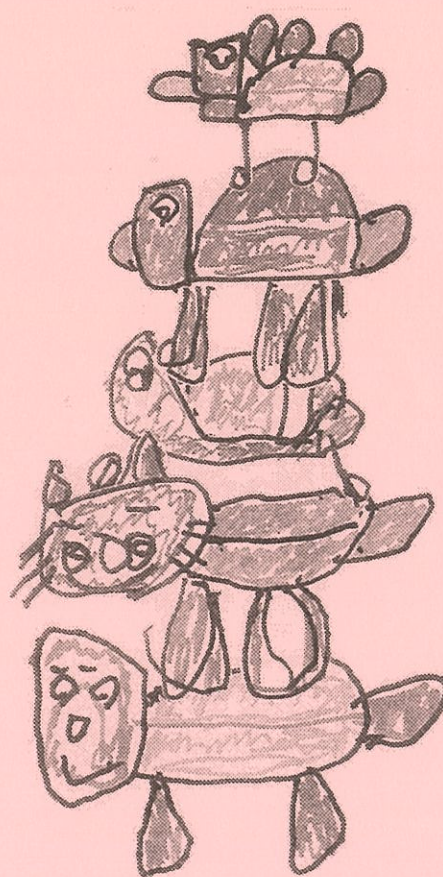


年次レポート

2019-2020



an annual report

社会福祉法人 調布を耕す会

今、ここ、この事

私は、常日頃「今、ここ、この事」を意識して物事に対処してまいりました。今とは2020年です。こことは「耕す会」です。この事とは、メンバーや保護者・職員・ボランティアの方々が毎日生きがいを持って元気に生活出来ることです。

耕す会の2019年度事業報告には次の事項が記載されています。台風などの自然災害。社会環境や制度の変化、そして今も続いている新型コロナウイルスの影響…。色々な事が起こり続けています。さらに生活様式や人との接し方が変わるなどで、その変化に合わせる為のメンバーや保護者の方々は大変な思いで暮らしていることと思います。私もいかに普段やれていることが大切で貴重で「ありがたい」かを身を持って感じています。日々の営みは意識せず「空気」のようなものですが、無くなった時にいかに「ありがたい」かを思い知ります。

一つの事業を進めるには次の三者が必要と言われていています。【富者・智者・医者】です。富者とは財政の裏付け、智者とは色々な案や計画を創る職員や保護者、医者とは健康な職員や保護者のマンパワーです。「耕す会」を見ればこの三者は揃っていますし、日々研鑽努力しています。この三者が一丸となって難局を乗り越えられるように、どうか引き続き、皆様のお力をお貸し下さい。

一年間ありがとうございました。

2020年8月

社会福祉法人 調布を耕す会
理事長 原 良男

2019~2020

■写真で見るこの1年

■2019年度事業報告

- I. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き国領」の運営……1
- II. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……6
- III. 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営……10
- IV. その他の事業・活動……12
- V. 組織運営……13
- VI. その他プロジェクト……14

■2019年度決算報告

- ・貸借対照表……15
- ・資金収支決算書……16
- ・事業活動収支決算書……18

■2020年度事業計画

- I. 重点目標……20
- II. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き 国領」の運営……20
- III. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……24
- IV. 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営……29
- V. 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営……31
- VI. その他の事業・活動……33
- VII. 組織運営……33

■2020年度予算

- ・予算内訳表……35

◆資料

- 1年間の活動日誌……37
- 役員名簿……40



しごと場大好き



DAISUKI
大好き





CAFE 大好き



1年の行事

大好き市



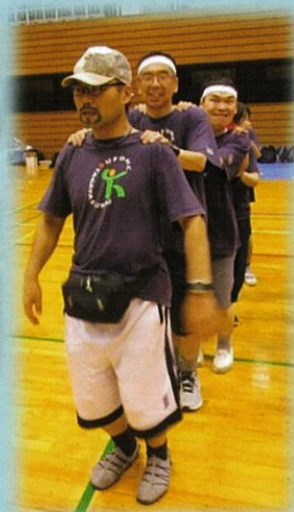
アート展



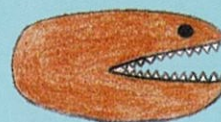
ジャングルバザー



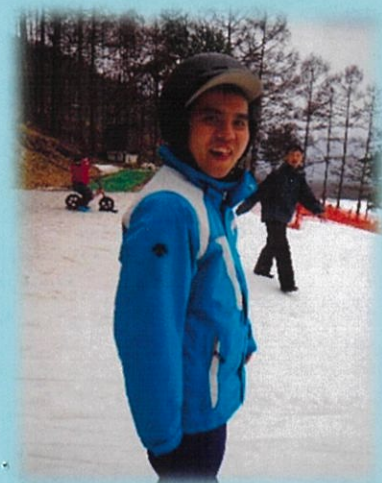
運動会



福祉まつり



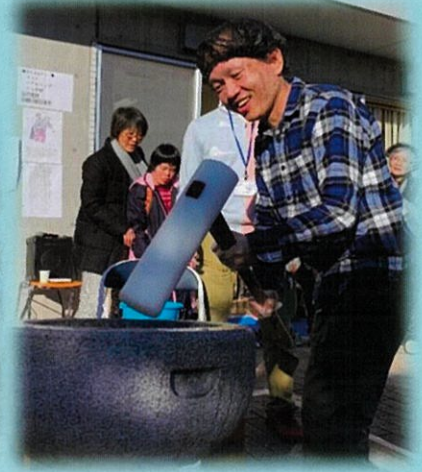
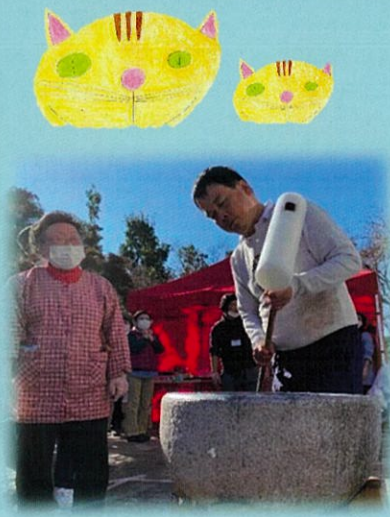
秋・冬 合宿



それはおしゃれなコンサート



餅つき会



社会福祉法人調布を耕す会 2019 年度事業報告

I 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

【生活介護「しごと場大好き」】

1. 事業運営

利用者の入れ替わりが無く職員体制も落ち着き、「しごと場大好き 国領」（以下国領とする）も2年目を迎え、落ち着いた事業運営のスタートとなりました。しかし、年度途中から産休、育休に加え退職があるなど、結局2名の退職者と1名の育休者に2名の職員採用と予定外に職員の入れ替わりがありました。加えて、屋上フェンスの脱落、外壁鉄筋の爆裂、外壁タイルの浮き等の発生から来る建物維持の課題、台風による市内を襲った水害、それに伴うメンバー家族の避難等の災害への備え、新型コロナウイルスによる地球規模のパンデミック発生による感染症対策等、これまであまり想定していない事態が次々と起こり、事業継続計画（BCP）の必要性を痛感した1年でした。次年度以降、BCPの策定を一つのテーマとして取り組んでいきます。

2. メンバー処遇

国領が2年目を迎え、メンバーの相互利用が安定して行われました。また、現場での情報共有の在り方や個別支援には進展が見られ、全体での支援レベルの底上げが感じられました。そうした中で、更なる作業環境の細分化、作業種目の多様化が求められています。これらの課題にどういう答えを導き出すのが今後の大きなポイントになります。

(1) 生活支援

日常の活動やリハビリを通して、利用者の心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動を行いました。

(3) ケース会議 *就労継続B型と合同実施

基本的に週1回のペースで定期的に行われ、支援方法の確立に寄与しました。

しごと場大好きに通所するメンバーの解決すべき課題を事例検討し、対応策を考え実践に生かす事を目的として定期開催しました。

①日時

毎週水曜日 17:30～18:30（月例の職員会議、その他の臨時会議の日は除く）

②対象者

しごと場大好き勤務の常勤職員

③会議内容

ケース会議の進行はインシデントプロセス法をアレンジした形式で行いました。会議内容は<①課題提案 ②質疑 ③検討 ④まとめ>となります。

④これまでの経過

2012年4月より開始。2019年度は27事例について検討しました。一定期間ごと対策の成果を見直しました。

話し合いの中から、トラブルが起きた際すぐに全職員に情報が行き渡るよう、伝達事項用紙を施設各所に設置することが決まりました。

運用の結果、職員間での連絡漏れがなくなり、早期に事態の把握ができるようになりました。

3. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。

(2) 創作活動の機会の提供

陶芸、組みひもなど従来の創作活動に加えて、美術講師を招き、芸術活動の時間を設けてメンバーの新たな可能性を探っています。少しずつ新しい可能性が見えて来ています。

(3) 簡易受託受注事業

封入封函、ポストイング等、単発の仕事もメンバーには向いている事も多く、積極的に取り組んでいます。

(4) その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践）

年間を通して、毎週月曜日に社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

②地域に根ざした活動（地域向けバザー／道路清掃）

毎週行っていた施設前道路の清掃が出来なくなって来ています。また、年間を通して行事が多く大変だという声を受けて、毎年開催していた花火鑑賞会を無くしました。他方、誰もが自由に参加できる餅つき会、大好き市は継続運営し一定の来場者がありましたが、発展は無くマンネリ化の様子も感じられます。開設から12年、総じて地域の中で社会福祉法人として価値ある取り組みは何なのか、改めて考える時期にきています。

③受託事業（メール交換、散水清掃業務（駐輪場清掃）、クリーンセンター清掃）

就労継続B型部門、国領と合わせ合同で取り組みました。

④音楽療法（社会体験活動内）

今年度も、講師を招いて音楽療法を年5回行いました。メンバーはみな自由にのびのびと活動に参加し大変好評でした。次年度も継続して行います。

4. 防災計画

就労継続B型部門と国領合同で防災訓練を年2回実施しました。

9月 5日 地震発生想定避難誘導（送迎）訓練 参加60名

2月14日 地震発生想定総合防災訓練、消防署立会いの下で訓練 参加48名

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 職員

2名の職員の退職に伴い1名の職員と1名の産休代替え職員を採用しています。年間を通して、職員の入れ替わりが多くありましたが、メンバー処遇には大きな混乱なく運営することが出来ました。新たに東社協の退職金共済制度に加入し退職金共済を2本立てにする事が決まりました。次年度から運用開始となります。

7. 研修 *就労継続B型と合同実施

今年度も、外部研修に加えて自施設メンバーの障害特性について共通認識を深めるため、3名の職員が講師となり全職員に向けて内部研修を行いました。また、東京都の研修に伴う派遣職員制度を使い研修時の職員確保に努めました。有効だという結果を受け、次年度も積極的に利用して行きま

す。また、好評の福祉作業所連絡会の交換研修に今年度も積極的に取り組み3名の職員派遣と5名の受入れを行いました。

8. 運営資金

概ね想定内の繰り入れの無い事業単独での運営ができました。

9. 第三者委員 *就労継続B型と合同開催

具体的に利用者、家族から相談を受ける体制として、「大好き市」の際の相談会に加えて、一昨年より好評の相談会「お話し聞きますよ」を行いました。今年、ファミリー単独の相談もありました。引き続き第三者委員の伊藤氏に相談員として来所いただき開催しています。

日時： 4月29日（祝）13：00～16：00 相談者6名 三田氏、伊藤氏

日時： 7月31日（火）13：00～16：00 相談者2名 伊藤氏

日時： 11月 5日（火）13：00～16：00 相談者5名 伊藤氏

日時： 1月22日（水）13：00～16：00 相談者4名 伊藤氏

10. リスクマネジメント委員会 *就労継続B型と合同開催

(1) 総括

引き続き、施設長、カフェ大好き店長、主任2名の計4名でリスクマネジメント委員会を構成した。定例会議12回の会議を開催しました。

東京都のガイドラインに沿った6本の柱（①報告制度の確立②委員会の運営③業務手順書（しごと場大好き手引書）の作成と活用④研修の企画実施⑤家族とのパートナーシップ⑥ケース記録の作成と活用）の成熟度を5段階で表し、各柱がレベル5に達する事を委員会のゴールと位置付け、各柱のレベル向上に取り組みました。

第8期は、各柱のレベルを1つ引き上げるための課題解決を中心に活動しました。

(2) 活動内容

構成メンバー：施設長・カフェ大好き店長・主任2名（亀田・後藤・近田・矢内）

第1回 4月15日 前年度振り返り、年間会議進行スケジュール作成

第2回 5月13日 「報告書式改訂」について

第3回 6月17日 「ケース記録の作成と活用」について①、「内部研修」について①

第4回 7月 8日 「報告制度」について①、「内部研修」について②

第5回 8月19日 「報告制度」について②、「内部研修」について③

第6回 9月 9日 「家族とのパートナーシップ」について①

研修① 9月12日 内部研修 - メンバーの特性考察・支援の方向性①

第7回 9月30日 「家族とのパートナーシップ」について②、「内部研修振り返り」

第8回 11月25日 「業務手順書の整備」について①、「次回、内部研修」について

第9回 12月16日 「家族とのパートナーシップ」について③、「業務手順書の整備」について②

第10回 1月15日 「内部研修について」

研修④ 1月23日 内部研修 - メンバーの特性考察・支援の方向性②

第11回 2月12日 「内部研修振り返り」

第12回 3月 9日 「研修結果」について、「次回、内部研修」について

「面談確認事項」について、「今年度振り返り」について

(3) 活動成果

- ・内部研修実施（年2回）⇒上記、活動内容参照
- ・ひやりはつと及び事故報告の対策とその後の検証
- ・ひやりはつと報告・事故報告書式改訂
- ・ひやりはつと報告・事故報告から改善に至るまでのフローチャート作成（しごと場大好き）
- ・各事業所におけるひやりはつと対策・事故対策の周知徹底策
- ・ファミリーによる職場見学概要策定
- ・業務手順書更新および職員読み合わせ（しごと場大好き）

(4) 結論

2020年度も現体制を維持し、第9期リスクマネジメント委員会として活動し、各柱レベル5へのアップを目指します。

1 1. みんなを守ろう委員会（虐待防止） *就労継続B型と合同開催

年間5回開催しました。（9/19、10/17、11/14、1/9、2/27）

《内容》

- ・職員へのアンケート実施（虐待に関連したもの）
- ・アンケートや現状からの課題出し
- ・アンケート回答「やり方に迷いがある」より
→非常勤職員との意見交換会を実施し意見集約
- ・意見交換会から出た課題で、非常勤職員に伝わっていなかった現場のやり方の再確認

【生活介護 分場「しごと場大好き 国領」】

1. 事業運営

「しごと場大好き」分場として、「しごと場大好き 国領」（以下国領とする）は2年目を迎えました。前年度の課題となっていた職員配置の不安定な面も解消され、安定した施設運営を行うことができました。利用者の対応などでは、日々の生活に特化した活動をテーマに仕事はもちろんのこと、日々の生活を支援してきました。利用者が日々の生活で難しいと感じる事に着目しながら、どうすれば課題を克服できるのかを広い視野を用いて支援に反映し、多角的にアプローチし続けていきたいと思えます。

2. メンバー処遇

昨年度に引き続き、日々の生活能力の維持と発展を目指しながら、個々に応じた細やかな作業提供を行いました。また、職員間の話し合いを通して、メンバーの選択肢が広がる様に本場と国領を相互利用できるように取り組んでいます。日々の生活の中でメンバー一人ひとりの課題を見出し、その人にあった対応を日々考えながらより良いアプローチ方法を見出すプロセスを大切に、メンバーの小さな変化に気付く事のできるような支援を心がけています。職員からメンバーへ対する支援方法が必ずしもいい結果に繋がるわけではなく試行錯誤の繰り返しですが、失敗を恐れず職員間で納得いくまで話し合い、支援の精度の向上を図っていきたいと考えています。

(1) 生活支援

日常の活動や社会体験活動（コミュニケーション・運動・余暇・移動交通）を通して、利用者の心身の健康保持と生活機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動に加えて、正月や節分など季節の行事に因んだ

製作・調理実習などを行いました。

3. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。

(2) 創作活動の機会の提供

外国のコインを加工し、リングやヘアゴムの作成を行いました。また、リサイクル（コルク・牛乳パック）でキーホルダーや紙すきに取り組んで、紙すきで作ったコースターはカフェ大好きに納めています。その他に、アクセサリー作家の依頼を受け、麻の皮を割いてフリンジの作成もしています。今年度に限り、ラグビーW杯開催に伴いオリジナルキーホルダー作成をしました。

(3) 簡易受託受注事業

しごと場大好きと分け合いながら、ポスティング等の仕事に積極的に取り組みました。

(4) その他の事業

①社会体験活動（コミュニケーション・移動交通・余暇・運動）

年間を通して、毎週金曜日に課題を変えて社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

②地域に根ざした活動（道路清掃）

毎日午前中に利用者と職員で施設前道路の清掃を行いました。地域の交流事業は独自に行ってはおりませんが、しごと場大好きが主催する行事に参加をしています。

③調理実習・味噌汁作り

毎週金曜日にメンバー会議を開き、調理実習のメニューを話し合います。決まったメニューを翌週の月曜日に調理します。味噌汁作りは毎日利用者と職員が当番制で行なっています。

4. 防災計画

しごと場大好きと合同開催。

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 職員

基本的に3名の職員配置をしました。

7. 研修

しごと場大好きと合同開催。

8. 運営資金

しごと場大好き会計に組み込み運営しています。

9. 第三者委員

しごと場大好きの相談会に参加しています。

10. リスクマネジメント委員会

しごと場大好きと合同開催

11. みんなを守ろう委員会

しごと場大好きと合同開催

II 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営

【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

1. 事業運営

今年度は地元でのラグビーワールドカップ開催年という事で、関連した作業や商品の販売で特需を目論んでいましたが、スポンサーや東京都の規制が中々に厳しく「スクラムフェア」という都主催のイベント内の調布市ブースで、計8回のケータリングカーでの販売機会があるだけでした。集客も今一つで売上も24万と少なく、工賃向上には繋がりませんでした。しかし、クリーンセンター清掃や駐輪場清掃等の受託作業はメンバーの適用があり受託の幅が広がった結果、全体の就労支援収入としては増加が見られました。他方では、メンバーの1名増員がありましたが、収入増を目指して一般就労を希望され、就労支援事業所へ移る事になりました。学校でも、こちらでも全く伝え聞いていなかった方向転換で、今後への教訓となりました。また、予てから課題の事務部門強化へ向けて社会保険労務士への業務委託を開始しました。

2. メンバーの処遇

全般に安定して通うメンバーは年々増えてきている傾向にあり、年間の平均出勤率が少しずつ上昇しています。以前は80%台でしたが、今年度は93.4%となり目標の95%へ後少しの所に来ています。個別に見ると課題は少なくありませんが、この傾向が続くように更に個別ニードを的確に把握する事に注力して行きます。

(1) 生産活動援助

菓子製造は、職員の入れ替わりによる生産量の減少が解消され、一昨年の売上レベルまで戻すことが出来ました。自主製品の売り上げ、受託作業の増加もありましたが、大幅な増収には至っていません。また、年度末から続くコロナ禍で販売箇所が無くなり外販、カフェの営業も危ぶまれる事から、次年度は大幅な収入減が想定されます。

(2) 生活指導

利用者の立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(3) 職業訓練指導

日々の活動の中で、就労に必要な知識及び能力の向上に努めました。

3. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる調布市関連の委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培いました。収益性において生産活動の柱となっています。新たに施設外就労の形で新設のクリーンセンターの清掃作業を昨年度から受託しましたが、メンバーが大変意欲的に働き良い仕事になっています。駐輪場の清掃カ所も増えていますが、定着しています。

(2) 自主製品事業

陶芸、組みひもについては、今年も都設置の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売が売り上げに大きく貢献しています。「KURUMIRU」の製品管理に習い商品の品質を高めようとしていま

すがあまり注力できていません。

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店（カフェ大好き）、福祉ショップ営業での仕事を通して一般就労に必要な知識、能力を養いました。大幅なリニューアルを経ての営業で、一定の効果が見られましたが残念ながら3、4年前の収益には未だ届かない状況です。

(4) 食品加工事業

カフェ大好きでの販売食品（カレー、スープなど）の製造、クッキー、シフォンケーキ、かぼちゃプリンなど焼菓子の製造、加工、販売。ジェラートの製造、加工、販売を行いました。製造担当者の入れ替わりから生産量が昨年度落ちましたが、市内飲食店2店舗からの、かぼちゃプリンの定期発注が大きく、売り上げを戻しています。

(5) ケータリングカーでのジェラート・菓子販売

ラグビーワールドカップでのフェスタ販売があり年間の売上は戻しましたが、調布駅前での定期販売は低調が続いている状態から脱却出来ていません。根本的な改善が望まれます。

4. 防災計画 *生活介護と合同実施

生活介護部門と合同で防災訓練を年2回実施しました。

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 職員

大きな変更なく安定した職員配置となりました。

7. 研修 *生活介護と合同実施

8. 運営資金

年間を通して、安定した財政状況でした。

9. 第三者委員 *生活介護と合同開催

10. リスクマネジメント委員会 *生活介護と合同開催

11. みんなを守ろう委員会 *生活介護と合同開催

出張所「カフェ大好き」】

調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F

1. 事業運営

法人の中長期計画にそって店舗リニューアルをし、4月2日にリニューアルオープンを果たしました。年度をまたいでの完成になってしまいましたが、お客様からもご好評を頂いており、前年度より約20万円の売り上げ増につながりました。

年度後半には、開店当初より長きにわたり取引をさせて頂いていた肉のはせがわさん閉店というトピックがありました。味のベースが変わることが心配でしたが、新たな取引先をご紹介いただき、試作の結果これまで同様のレベルの商品を提供できることとなりました。メンバーもお買い物に行くこ

とを楽しみにしていたため閉店を残念がっていましたが、最終日に伺い、みんなでこれまでのお礼をお伝えすることができました。

(1) 事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

リニューアルオープン後、新規のお客様も増え、売上増につながりました。特に、モーニング時間帯に打合わせをする会社員が増えたことや団体でのご予約増など、新たな客層の獲得ができました。

また、周年セール事業として、デザートバイキングの提供を行いました。いつも応援していただくお客様へのお礼の場としたいと、近隣へのチラシ配りを廃止し、顧客へのDM発送にとどめました。多数の常連のお客様、関係者の皆さまに楽しんでいただけるイベントとなり、今後も同様な形での開催を検討していきます。

②福祉ショップ事業

引き続き、常設展示スペースを確保して市内福祉作業所の手作り品を展示販売しました。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

月ごとに展示が変わり、市民の方々の作品発表の場として有効活用していただきました。

【開催実績】

4月：杉本勝(水墨画展)/5月：グループKUL(水彩画)/6月：アトリエMAKO(チョークアート)/7月：ミックスリーブス(ファブリック)/8月：組みひも展(くみひも)/9月：MIEN(畳縁雑貨)/10月：愛染てらにし(ビーズ作品)/11月：SPARKSTONE(アートフラワー)/12月：ミックスリーブス(ファブリック)・パラアート展/1月：パラアート展(絵画)/2月：多摩川書道教室(書展)/3月：杉本勝(水墨画展)

(2) 利用者の処遇

①常時十分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけました。

②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけ、しごと場大好き・カフェ大好き of 相互利用をすすめていきました。昨年度より課題となっているメンバーの高齢化への配慮として、座ってできる作業の提供も継続して実施しました。

③安定した工賃収入が得られるよう努力しました。

④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにしました。

(3) メンバー会議

しごと場大好き of 月曜日の取り組みに、共に参加しました。

(4) 広報・情報提供活動

①ホームページを活用して、カフェ大好き of 展覧会の情報等を発信しました。

②ブログを活用し、タイムリーな情報を随時掲載しました。

③ギャラリーの展示内容について、近隣にチラシ配りを行い、周知に努めました。

2. 運営・管理

(1) 運営

出張所として、適正な運営を行いました。

(2) 資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないました。

(3) 衛生管理

①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちました。

②手洗や爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めました。

③食品の取り扱いに充分注意しました。粘着テープで制服のほこりを取り、異物混入を防ぐ対策を継続して行いました。

④定期的に衛生管理チェックを行い、衛生検査を年2回行いました。

(4) 保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めました。

(5) 防災計画

年2回の防災訓練を行いました。しごと場大好きと合同の防災訓練も実施しました。

(6) 施設間の連絡調整

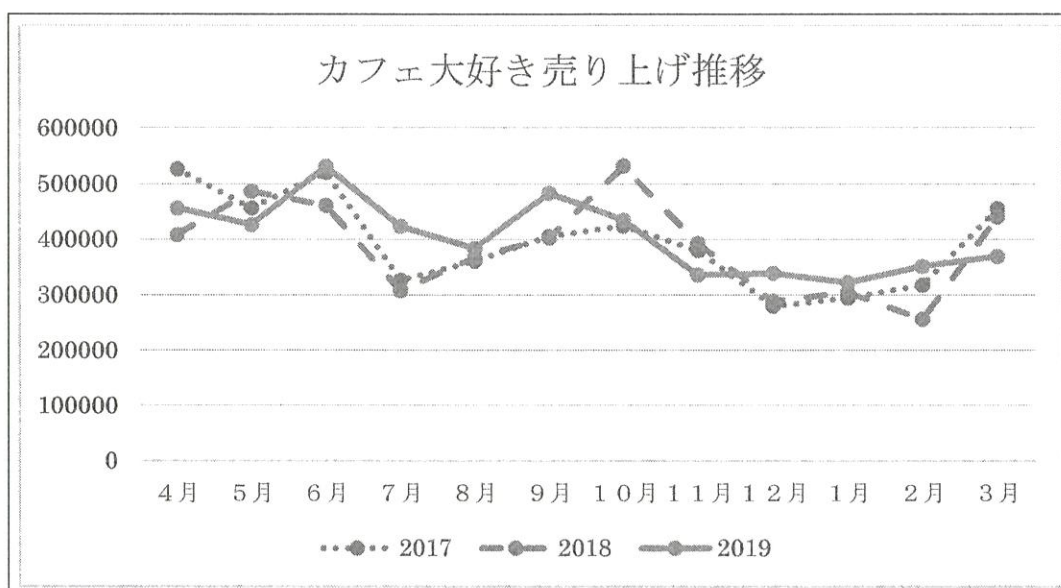
①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図るよう心がけました。

②全国喫茶コーナー交流会に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう連絡を取り合いました。

(7) 研修

メンバー職員ともに、市内外の福祉喫茶を見学訪問する機会を作りました。継続し、新たな気づきが生まれるようにしていきます

◆資料 過去三年間の売り上げ



【分析と検証】

・2017年度からやや売上が減少していたが、リニューアルオープン後盛り返すことができた。近隣施設（京王閣）でのイベントがなくその分の売り上げがなかったことを考えると、悪くない結果だったと思われる。ただ、大入り袋（売上50万円超え）が1回しか支給できなかつたため、次年度は複数回支給できるようにしたい。

Ⅲ 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営

【共同生活援助グループホームDAISUKI】

1. 事業運営

事業開始9年目にあたる今年は、入居者4名、生活支援員2名世話人4名で、スタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってきました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めてきました。また、現在使用している物件については、約束の期限があるため、移転に向けた準備を進めていくように、DAISUKI移転プロジェクトを立ち上げ、移転先の物件探しを始めています。候補に挙がっていた物件が、実際に使用することが困難な状況になり、新たな物件を紹介され、交渉を始める直前にコロナ禍により、土地の所有者さんと法人との挨拶が延期されている状態です。

2. 利用者の処遇

利用者が、少しでも自立に向けた経験を積んでいければと、準備・片付け・掃除・洗濯・配膳・下膳等、日常生活に必要なスキルを自主的に取り組めるように働きかけてきました。食事・入浴の提供及び衛生管理・金銭管理も日常的に行いました。これにより、洗濯機の使い方や洗濯物の干し方、お米の研ぎ方、また、下膳・小遣い帳記載などが良い習慣として、身につけてきているとの成果報告があり、継続して続けています。

3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、クッキングハウスさんに委託して提供して頂きました。年に数回程度、レストランでの外食・販売されている惣菜・お弁当等も取り入れました。また、入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
- (4) 金銭管理の援助として、小遣いを預かり出納を管理しました。
- (5) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。
- (6) 一人暮らしを望んでいる元利用者には、随時相談として面談を行いました。また、関係各機関との連絡調整を行いました。

4. 防災計画

DAISUKI防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催し、第1次避難場所まで実際に避難してみる訓練を行いました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）

家賃月額 42,000 円 光熱水費、日用品費、雑費など月額 20,000 円

固定費は毎月、食費は利用に応じて、請求（翌月 10 日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

安定した職員で運営ができました。

8. 資金計画

今年度は、単年度で赤字になる見込みですが、正規職員の人件費を次年度よりパンプキンと按分することで、健全な財政を目指します。

【ユニット「パンプキン」】

東京都調布市染地 2-27-6

1. 事業運営

事業開始 2 年目にあたる今年は、入居者 5 名、生活支援員 7 名、世話人 5 名で、スタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行って来ました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めて来ました。人的な体制としては、年間を通して人の入れ替えがなく安定していましたが、勤務の変更の申し出があったため、内部で補い合ってやりくりをしている状況です。

2. 利用者の処遇

利用者が、少しでも自立に向けた経験をできるようにと、食事の提供及び食事の介助、衣類の着脱の見守り及び介助、入浴の介助、トイレの介助等を行って来ました。

3. 事業内容

(1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。

(2) 食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、食事づくり担当職員が調理を行い、提供して頂きました。また、入浴介助担当職員が、入浴の介助を随時行いました。

(3) 健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。

(4) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。

4. 防災計画

パンプキン防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催し、第 1 次避難場所まで実際に避難してみる訓練を行いました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）

家賃月額 61,200 円 光熱水費、日用品費、事務用品費、雑費などは実費を受領。

食費は利用に応じて、請求（翌月 10 日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

年間を通して、入れ替わりのない安定した体制でした、勤務の変更は、若干ありましたが内部で補い合って穴を埋めてきました。

8. 資金計画

今年度は、単年度では、黒字になる見込みです。人件費の支出が少なかったことが原因と思われる。

9. 短期入所「パンプキン」

今年度も、試験的運用となっており、本格稼働が待たれていることが大きな課題です。

IV その他の事業・活動

1. 障害者の社会参加を支援する活動

(1) 交流活動（年間を通して随時）

① 餅つき会

190名以上の方々にお越し頂き大変賑やかな会になりました。新作の創作もちを職員が発表するなど、愉快的企画も催されました。地域の方々にも多数お越しいただき、餅のつき手にも恵まれ、温かな雰囲気の中で交流を深めることができました。

実施日：2020年2月1日（土） 場所：「しごと場大好き」 参加者：197名

2. 広報・情報提供活動

(1) 会報の発行等

法人の事業・活動を広く知らせるとともに関連情報を提供する為、調布市内外の関係機関・団体、協力者、助成団体、マスコミ、特別支援学校 PTA などに配布しました。

偶数月年6回、毎号600部発行

発行月	発行No.	主な内容
4月	163	2019年通所式/アイスの日告知/TAGAYASIBITO/こぶしの会だより/活動報告/グループホーム/理事評議員会報告/通信衛星
6月	164	決算理事会報告/TAGAYASIBITO/こぶしの会だより/サマー募金/活動報告/通信衛星
8月	165	グループホームパンプキン1周年/年次レポート発刊/花火鑑賞会終了/TAGAYASIBITO/こぶしの会だより/活動報告/ほっとハート告知/バザー品回収のお知らせ/通信衛星
10月	166	コンサート告知/TAGAYASIBITO/こぶしの会だより/活動報告/ジャングルバザー告知/通信衛星
12月	167	2019ジャングルバザー報告/TAGAYASIBITO/こぶしの会だより/活動報告/グループホーム通信/コンサート告知/通信衛星

2月	168	それはおしゃれなコンサート報告/TAGAYASIBITO 特別編集 ／こぶしの会だより／活動報告／グループホーム通信／成人 を祝う会／通信衛星
----	-----	---

(2) 情報提供活動

年次レポートを予定通り発行することができました。長年の課題である法人のパンフレットはいまだ未作成のため、早い時期の取り組みが必要です。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

(1) 「それはおしゃれなコンサート (第27回)」の実施

27回目のチャリティーコンサートを企画・実施しました。開催にあたりコンサートプロジェクトが中心となり企画の検討、調整を行いました。

調布市文化会館たづくり くすのきホールにて開催し、出演者は、シャンソン歌手のクミコさんを招いてのコンサートとなりました。メンバーさんたちも、最後はノリノリで、立って踊り出すという素晴らしいコンサートとなりました。

- ・ 開催日 2020年1月 11日(土)
- ・ 会場 調布市文化会館たづくり くすのきホール
- ・ 出演 クミコさん
- ・ 入場者数 500名
- ・ 後援 調布市、調布市教育委員会、(福)調布市社会福祉協議会、
(財)調布市文化・コミュニティ振興財団
- ・ 協力 協力券頒布：市内各福祉作業所等 広告掲載：6社
- ・ チャリティー事業収入 約60万円

4. 協力・連携事業

(1) 文化的活動の実施

実施できませんでした。

(2) 他団体等への支援・協力活動の実施

実施できませんでした。

V 組織運営

1. 組織運営

(1) 理事会、評議員会の開催

「しごと場大好き」「カフェ大好き」を運営する体制を整えるとともに、各種事業、活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図るよう努めました。

理事会の開催 6回 評議員会の開催 2回

(2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務局会議を 定例で月1回開催し、運営上の課題について検討を重ねました。年間を通して税理士さんに会計を見てもらい、各事業、月々の締めめに決算もあわせて、確認いただいています。

月次報告は理事長が事務局会議で確認しています。

(3) 市民の参画を得るための委員会の確立

幅広い市民の参加によるプロジェクト(委員会)を設置し、法人の事業、活動を市民の参画・協働によって実施していくことを目指して活動しました。

「コンサートプロジェクト」では『それはおしゃれなコンサート』の企画運営、「バザープロジェクト」では『ジャングルバザー』の企画運営を行ないました。

【コンサートプロジェクト】

朝日敏幸 大菊健太 安藤光子 川崎春枝 原郁子 舟山佐智 後藤朋子

【バザープロジェクト】

天田進二 野口千鶴子 吉田真弓 清野敦美 原峰子 近田真之 森田和広 渡辺稚月

(4) 理事・監事、評議員の研修実施

引き続き、研修の機会を設けることに積極的に取り組みました。

2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めました。

(1) バザー等の計画的実施

バザープロジェクトメンバーに新たなメンバーが加わり、主催バザーの企画・運営をしました。

- ・開催日 ジングルバザー2019 2019年11月9日(土)
- ・会場 調布駅前広場(ビックカメラ前)
- ・参加団体 MIEN フララウマカニ
- ・事業収入 約65万円

VI その他プロジェクト

1. 将来構想プロジェクト(第4期将来構想プロジェクト)

今回も公募を行い2019年7月から第4期中期計画(2019~2021)の進捗状況を進行管理するという目的で、プロジェクトをスタートしました。年間6回の定例会議に加え、12月には第5回将来構想拡大プロジェクトを開催しました。「後見人制度について」というテーマで、調布市の高齢者障害者福祉相談員に講演をいただき活発な意見交換を行いました。

※将来構想プロジェクト【原良男 大村洋 小山嘉子 亀田良一郎 内田喜則 後藤朋子 矢内真澄 近田真之 山口寛孝 松原中代 以上10名】

2. DAISUKI移転プロジェクト

グループホームDAISUKIの移転の期限が、近づいていることから、2018年11月29日に移転のためのプロジェクトを利用の家族・職員で立上げこれまでに4回の会議を開催してきました。候補地の選定を主な議題として、会議を進めています。

※DAISUKI移転プロジェクト【原良男 安藤光子 石坂泰子 舟山佐智 長谷川美枝子 亀田良一郎 内田喜則 山口寛孝 以上8名】

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	154,026,713	144,637,501	9,389,212	流動負債	25,034,328	21,957,374	3,076,954
現金預金	128,144,122	120,685,913	7,458,209	事業未払金	18,592,579	15,401,611	3,190,968
事業未収金	24,568,758	22,681,649	1,887,109	1年以内返済予定設備資金借入金	1,540,000	1,540,000	0
商品・製品	436,482	489,011	△ 52,529	預り金	64,750	8,114	56,636
仕掛品	21,653	20,444	1,209	職員預り金	1,115,634	1,035,183	80,451
原材料	215,458	198,638	16,820	賞与引当金	3,721,365	3,915,466	△ 194,101
立替金	71,463	0	71,463	仮受金	0	57,000	△ 57,000
前払費用	506,018	492,596	13,422				
仮払金	62,759	69,250	△ 6,491				
固定資産	303,881,281	309,254,512	△ 5,373,231	固定負債	10,780,000	12,320,000	△ 1,540,000
基本財産	268,217,761	272,083,441	△ 3,865,680	設備資金借入金	10,780,000	12,320,000	△ 1,540,000
土地	160,000,000	160,000,000	0	負債の部合計	35,814,328	34,277,374	1,536,954
建物	98,217,761	102,083,441	△ 3,865,680	純資産の部			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	基本金	10,000,000	10,000,000	0
その他の固定資産	35,663,520	37,171,071	△ 1,507,551	第1号基本金	10,000,000	10,000,000	0
建物	1,912,822	3,292,438	△ 1,379,616	国庫補助金等特別積立金	218,263,433	224,202,127	△ 5,938,694
機械及び装置	1	1	0	その他の積立金	13,300,038	12,920,956	379,082
車輛運搬具	4,797,470	4,793,649	3,821	工賃変動積立金	5,894,224	5,515,589	378,635
器具及び備品	1,865,454	2,430,154	△ 564,700	設備等整備積立金	7,405,814	7,405,367	447
権利	216,000	216,000	0	次期繰越活動増減差額	180,530,195	172,491,556	8,038,639
投資有価証券	9,767,186	9,695,551	71,635	(うち当期活動増減差額)	8,417,721	10,980,933	△ 2,563,212
工賃変動積立資産	5,894,224	5,515,589	378,635				
設備等整備積立資産	7,405,814	7,405,367	447				
差入保証金	3,000,000	3,000,000	0				
長期前払費用	740,399	766,572	△ 26,173				
その他の固定資産	64,150	55,750	8,400	純資産の部合計	422,093,666	419,614,639	2,479,027
資産の部合計	457,907,994	453,892,013	4,015,981	負債及び純資産の部合計	457,907,994	453,892,013	4,015,981

資金収支決算書

(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

	勘定科目	法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
収入	就労支援事業収入	19,574,227		7,262,288	12,473,189		*
	受託事業収入	7,518,464		4,063,039	3,455,425		
	喫茶事業収入	5,179,410			5,179,410		
	自主製品事業収入	642,845		315,336	341,609		*
	菓子、調理製造事業収入	3,302,684		1,675,624	1,633,110		*
	アイスクリーム製造事業収入	2,065,627		859,435	1,206,192		
	簡易受託受注事業収入	636,616		318,304	318,312		
	仕入れ商品売り上げ収入	228,581		30,550	339,131		*
	障害福祉サービス等事業収入	148,574,873		63,457,183	51,842,217		33,275,473
	自立支援給付費収入	124,493,269		56,294,404	43,675,217		24,523,648
	介護給付費収入	56,294,404		56,294,404			
	訓練等給付費収入	68,198,865			43,675,217		24,523,648
	利用者負担金収入	9,134,604		382,779			8,751,825
	特定費用収入						
	その他の事業収入	14,947,000		6,780,000	8,167,000		
	補助金事業収入	14,947,000		6,780,000	8,167,000		
	借入金利息補助金収入	235,620		49,316	186,304		
	経常経費寄附金収入	3,207,788	2,353,000	217,690	637,098		
	受取利息配当金収入	82,720	81,393	309	927		91
	その他の収入	4,107,640	2,488,360	931,823	560,557		126,900
	受入研修費収入	46,000		22,163	23,837		
	利用者等外給食費収入	168,900		17,581	24,419		126,900
	雑収入	3,892,740	2,488,360	892,079	512,301		
	雑収入	3,892,740	2,488,360	892,079	512,301		
	事業活動収入計(1)	175,782,868	4,922,753	71,918,609	65,700,292		33,402,464
事業活動による収支	人件費支出	114,633,868		56,604,145	36,712,989	21,316,734	
	職員給料支出	48,706,034		22,746,372	21,544,883	4,414,779	
	職員賞与支出	13,505,489		6,412,247	5,978,414	1,114,828	
	非常勤職員給与支出	36,580,917		17,710,038	4,140,769	14,730,110	
	退職給付支出	1,424,000		934,500	445,000	44,500	
	法定福利費支出	14,417,428		8,800,988	4,603,923	1,012,517	
	事業費支出	12,604,407		3,348,934	5,905,711	3,363,862	*
	給食費	2,054,914				2,054,914	
	保健衛生費支出	232,499		82,929	149,570		
	被服費支出	131,541		8,050	123,491		
	教養娯楽費支出	2,131,201		895,652	1,235,549		
	水道光熱費支出	4,066,761		1,014,441	2,048,988		1,003,332
	消耗器具備品費支出	839,942		224,286	518,825		110,931
	保険料支出	867,019		300,134	430,226		136,659
	賃借料支出	365,236		38,530	326,706		
	教育指導費支出	402,785		168,609	234,176		
	車輛費支出	1,309,283		552,126	748,646		8,511
	租税公課支出	400			400		
	雑支出	55,965		2,700	3,750		49,515
	地域交流費支出	146,861		61,477	85,384		
	事務費支出	19,833,302	1,754,921	3,417,844	6,722,018		8,024,569
	福利厚生費支出	91,486		57,430	34,056		
	職員被服費支出	32,214			32,214		
	旅費交通費支出	273,672	126,000	68,299	79,373		
	研修研究費支出	78,951		58,410	20,541		
	事務消耗品費支出	673,436	98,374	113,289	205,559		336,214
	印刷製本費支出	180,050	156,500	9,745	13,805		
	修繕費支出	1,145,102		426,430	718,672		
	通信運搬費支出	962,185	24,580	184,006	305,940		447,659
	広報費支出	239,583	68,403	71,657	99,523		
	業務委託費支出	2,666,559		1,185,516	1,481,043		
	その他の委託費支出	2,666,559		1,185,516	1,481,043		
	手数料支出	99,568	2,567	31,218	52,125		13,658
	保険料支出	64,000	64,000				
	土地・建物賃借料支出	10,723,387		653,000	2,843,720		7,226,667
	租税公課支出	670,321	38,747	255,843	375,360		371
	保守料支出	158,093		66,176	91,917		
	諸会費支出	26,200		3,349	22,851		
	雑支出	1,748,495	1,175,750	233,476	345,319		*
	雑支出(事務)	1,748,495	1,175,750	233,476	345,319		*
	就労支援事業支出	19,295,742		7,261,322	12,095,520		*
	就労支援事業販売原価支出	19,295,742		7,261,322	12,095,520		*
	就労支援事業支出	19,295,742		7,261,322	12,095,520		*
	支払利息支出	235,620			235,620		
	その他の支出	33,653		18,739	14,914		
利用者等外給食費支出	25,650		10,736	14,914			
雑支出	8,003		8,003				
雑支出	8,003		8,003				
事業活動支出計(2)	166,636,592	1,754,921	70,650,984	61,686,772		32,705,165	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	9,146,276	3,167,832	1,267,625	4,013,520		697,299	

資金収支決算書

(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入					
	固定資産売却収入	75,000			75,000	
	車輛運搬具売却収入	75,000			75,000	
	施設整備等収入計(4)	75,000			75,000	
	支出					
設備資金借入金元金償還支出	1,540,000			1,540,000		
固定資産取得支出	1,175,710			1,175,710		
車輛運搬具取得支出	1,167,310			1,167,310		
その他の固定資産取得支出	8,400			8,400		
施設整備等支出計(5)	2,715,710			2,715,710		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,640,710			△ 2,640,710		
その他の活動による収支	収入					
	その他の活動による収入	38,596				38,596
	長期前払費用返還金収入	38,596				38,596
	その他の活動収入計(7)	38,596				38,596
	支出					
積立資産支出	379,082		22	966	378,094	
工賃変動積立資産支出	378,635			966	377,669	
設備等整備積立資産支出	447		22		425	
その他の活動による支出	12,423				12,423	
長期前払費用支出	12,423				12,423	
その他の活動支出計(8)	391,505		22	966	390,517	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 352,909		△ 22	△ 966	△ 390,517	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	6,152,657		3,167,810	1,266,659	982,293	735,895
前期末支払資金残高(11)	127,427,500		43,403,994	35,674,840	45,639,714	2,708,952
当期末支払資金残高(10)+(11)	133,580,157		46,571,804	36,941,499	46,622,007	3,444,847

*内部取引あり

事業活動収支決算書

(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
収益	就労支援事業収益	19,735,477		7,262,288	12,473,189		*
	受託事業収益	7,518,464		4,063,039	3,455,425		
	喫茶事業収益	5,179,410			5,179,410		
	自主製品事業収益	656,945		315,336	341,609		*
	菓子、調理製造事業収益	3,308,734		1,675,624	1,633,110		*
	アイスクリーム製造事業収益	2,065,627		859,435	1,206,192		
	簡易受託受注事業収益	636,616		318,304	318,312		
	仕入れ商品売上収益	369,681		30,550	339,131		*
	障害福祉サービス等事業収益	148,574,873		63,457,183	51,842,217	33,275,473	
	自立支援給付費収益	124,493,269		56,294,404	43,675,217	24,523,648	
	介護給付費収益	56,294,404		56,294,404			
	訓練等給付費収益	68,198,865			43,675,217	24,523,648	
	利用者負担金収益	382,779		382,779			
	その他の事業収益	23,698,825		6,780,000	8,167,000	8,751,825	
	補助金事業収益	14,947,000		6,780,000	8,167,000		
	経常経費寄附金収益	3,207,788	2,353,000	217,690	637,098		
	サービス活動収益計(1)	171,518,138	2,353,000	70,937,161	64,952,504	33,275,473	*
	サービス活動増減の部	人件費	114,439,767		56,362,010	36,755,123	21,322,634
職員給料		48,706,034		22,746,372	21,544,883	4,414,779	
職員賞与		9,590,023		4,489,114	4,278,481	822,428	
賞与引当金繰入		3,721,365		1,680,998	1,742,067	298,300	
非常勤職員給与		36,580,917		17,710,038	4,140,769	14,730,110	
退職給付費用		1,424,000		934,500	445,000	44,500	
法定福利費		14,417,428		8,800,988	4,603,923	1,012,517	
事業費		12,618,507		3,348,934	5,905,711	3,363,862	*
保健衛生費		232,499		82,929	149,570		
被服費		131,541		8,050	123,491		
教養娯楽費		2,131,201		895,652	1,235,549		
水道光熱費		4,066,761		1,014,441	2,048,988	1,003,332	
消耗器具備品費		854,042		224,286	518,825	110,931	*
保険料		867,019		300,134	430,226	136,659	
賃借料		365,236		38,530	326,706		
教育指導費		402,785		168,609	234,176		
車両費		1,309,283		552,126	748,646	8,511	
租税公課		400			400		
雑費		55,965		2,700	3,750	49,515	
地域交流費		146,861		61,477	85,384		
事務費		19,919,352	1,754,921	3,417,844	6,722,018	8,024,569	*
福利厚生費		91,486		57,430	34,056		
職員被服費		32,214			32,214		
旅費交通費		273,672	126,000	68,299	79,373		
研修研究費		78,951		58,410	20,541		
事務消耗品費		753,436	98,374	113,289	205,559	336,214	*
印刷製本費		180,050	156,500	9,745	13,805		
修繕費		1,145,102		426,430	718,672		
通信運搬費		962,185	24,580	184,006	305,940	447,659	
広報費		239,583	68,403	71,657	99,523		
業務委託費		2,666,559		1,185,516	1,481,043		
その他の委託費		2,666,559		1,185,516	1,481,043		
手数料		99,568	2,567	31,218	52,125	13,658	
保険料		64,000	64,000				
土地・建物賃借料		10,723,387		653,000	2,843,720	7,226,667	
租税公課		670,321	38,747	255,843	375,360	371	
保守料		158,093		66,176	91,917		
諸会費		26,200		3,349	22,851		
雑費		1,754,545	1,175,750	233,476	345,319		*
雑費(事務)		1,754,545	1,175,750	233,476	345,319		*
就労支援事業費用		19,494,224		7,237,822	12,256,402		*
就労支援事業販売原価		19,494,224		7,237,822	12,256,402		*
期首製品(商品)棚卸高		489,011		150,309	338,702		
就労支援事業費		19,441,695		7,239,167	12,202,528		*
期末製品(商品)棚卸高		△ 436,482		△ 151,654	△ 284,828		
減価償却費		6,868,714		1,993,524	3,110,658	1,764,532	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 5,936,806		△ 1,788,708	△ 2,549,780	△ 1,598,318	
サービス活動費用計(2)		167,403,758	1,754,921	70,571,426	62,200,132	32,877,279	*
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		4,114,380	598,079	365,735	2,752,372	398,194	

事業活動収支決算書

(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	235,620		49,316	186,304	
		受取利息配当金収益	154,355	153,028	309	927	91
		その他のサービス活動外収益	4,107,640	2,488,360	931,823	560,557	126,900
		受入研修費収益	46,000		22,163	23,837	
		利用者等外給食収益	168,900		17,581	24,419	126,900
	雑収益	3,892,740	2,488,360	892,079	512,301		
	雑収益	3,892,740	2,488,360	892,079	512,301		
	サービス活動外収益計(4)	4,497,615	2,641,388	981,448	747,788	126,991	
	費用	支払利息	235,620			235,620	
		その他のサービス活動外費用	33,653		18,739	14,914	
利用者等外給食費		25,650		10,736	14,914		
雑損失		8,003		8,003			
雑損失		8,003		8,003			
サービス活動外費用計(5)	269,273		18,739	250,534			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,228,342	2,641,388	962,709	497,254	126,991		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	8,342,722	3,239,467	1,328,444	3,249,626	525,185		
特別増減の部	収益	固定資産売却益	74,999			74,999	
		車両運搬具売却益	74,999			74,999	
	特別収益計(8)	74,999			74,999		
	費用	特別費用計(9)					
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	74,999			74,999	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,417,721	3,239,467	1,328,444	3,324,625	525,185		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	172,491,556	55,271,545	29,603,104	85,628,838	1,988,069	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	180,909,277	58,511,012	30,931,548	88,953,463	2,513,254	
活動増減差額の部	基本金取崩額(14)						
	その他の積立金取崩額(15)						
	その他の積立金積立額(16)	379,082	22	966	378,094		
	工賃変動積立金積立額	378,635		966	377,669		
	設備等整備積立金積立額	425			425		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	180,530,195	58,510,990	30,930,582	88,575,369	2,513,254		

*内部取引あり

社会福祉法人調布を耕す会 2020年度事業計画

I 重点目標

1. 全事業において、昨年度末にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルスの感染防止に努め、クラスター感染が起きないように細心の注意を払うとともに、利用者及び職員等関係者の健康に最大限配慮したサービス提供を行う。
2. 社会福祉事業 「しごと場 大好き」分場「しごと場大好き 国領」「カフェ 大好き」の運営の充実に努める。
3. 社会福祉法人として、地域福祉の担い手となるべく、多くの市民とともに事業・活動の一層の充実、展開を目指す。
4. グループホーム「DAISUKI」ユニット「パンプキン」の運営の充実に努める。
5. グループホーム「DAISUKI」の移転先を確保する。
6. 「しごと場大好き」の外壁修繕を行う。

II 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 10名 現員14名《区分6(4)区分5(9)区分4(1)》

職員定数

所長(管理者)	1名(常勤)
サービス管理責任者	1名(常勤)(所長兼務)
医師	1名(嘱託)
看護職員	1名(非常勤)
機能訓練指導員	1名(常勤)
生活支援員	9名(常勤5名、非常勤4名)
事務職員	1名(非常勤・兼務)

分場「しごと場大好き 国領」

所在地 東京都調布市国領7-17-26

利用定員 7名 現員5名《区分5(2)区分4(3名)》

職員定数

所長(管理者)	1名(常勤・兼務)
サービス管理責任者	1名(常勤・兼務)
医師	1名(嘱託・兼務)
看護職員	1名(非常勤・兼務)
機能訓練指導員	1名(常勤・兼務)
生活支援員	3名(常勤)

1. 事業運営基本計画

指定生活介護の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第二条の四に規定するものに対して、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

「しごと場大好き」と「しごと場大好き 国領」（以下分場とする）は、双方の機能を活かしながら一層の相互交流を図り、個別支援のプログラムの充実を目指し一体的運営を行っていきます。また、社会福祉充実計画に基づきICTの活用による労働環境の改善に取り組みます。

分場：日々の日課を行うことで生活の安定を目的とし、社会で生きるための術を磨きます。職員とメンバー・メンバー同士がコミュニケーションをとり、お互いを高めていける運営を行っていきます。

3. メンバーの処遇

(1) 生活支援

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(2) 創作活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切に生きた生産活動を行います。

4. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADLが未自立なメンバーに対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めます。

(2) 創作活動の機会の提供

創作活動を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上を図ります。

(3) 簡易受託受注事業

野菜の仕入れ販売、下請け軽作業などを通して地域への障害者理解を促進し、働く事への意欲を喚起します。

(4) その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践／コミュニケーションマナーなどのグループ活動）

②地域に根ざした活動（地域向け施設開放行事各種／公園清掃／道路清掃／駐輪場清掃）

③受託事業、食品加工事業などB型事業所との共同事業

④自立訓練（調理実習、個別支援等を通じて社会生活に生きるプログラムを分場にて行う）

⑤大規模震災水災害、感染症拡大他、在宅による支援がやむを得ないと市区町村が判断した場合、在宅での支援を提供する場合があります。

分場

(1) 生活力の向上と維持

日々の生活を通して、ADLが未自立なメンバーに対し、日常的なサポートに加え、自分で判断する力を伸ばしていけるような取り組みを行うことで自発性の向上を目指します。

(2) 作業の取り組み

メンバー個々の能力に応じた作業提供を行います。難しいと感じる作業に対して工程の細分化（スモールステップ）や多角的な視野を持ち、作業にメンバーを合わせるのではなくメンバーに作業を合わせ、技術の習得を目指します。

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施します。

所長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

分場では独自の防災計画を作成し避難訓練等を年2回実施します。

主任	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

6. 日課

職員出勤 打合せ・送迎	8：30
通所	9：00
打合せ・準備	9：15
作業開始	9：15～12：00
昼食・休憩	12：00～13：00
作業開始	13：00～15：00
作業終了・片付け・掃除	15：00～15：45
打合せ・帰宅準備・帰宅	15：45～16：00
送迎	16：00～16：45
職員打合せ	17：15～17：30
閉所	17：30

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 援助主任：矢内 真澄 042-486-1022

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

分場

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 分場主任：近田 真之 042-444-3733

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

4月29日（祝）大好き市の他、年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。分場においても同じ機会を利用し相談を受ける。

9. リスクマネジメント委員会 *就労継続B型と合同開催

2020年度も現体制を維持し、第9期リスクマネジメント委員会として活動します。
 継続して、委員会運営の指針である6本の柱（①報告制度②委員会の運営③業務手順書の整備④研修⑤家族とのパートナーシップ⑥ケース記録の作成と活用）のレベル向上を目指します。

10. みんなを守ろう委員会 *就労継続B型と合同開催

引き続き年2回のアンケートを実施し、虐待防止の認識・意識向上に努めます。今年度はアンケートから課題を取り上げ、課題解決に努めたいと考えています。法人理念の周知徹底も継続します。

11. 職員名簿

しごと場大好き

7月1日現在

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
生活支援員・援助主任	矢内 真澄	介護福祉士
生活支援員・調理主任	亀田 弘美	
機能訓練指導員	上野 秀幸	介護福祉士
生活支援員	広沢 真	社会福祉士
生活支援員	日下石 誠	
生活支援員	近藤 鶴代	
生活支援員	石川 真紀	
生活支援員	澤上 美穂子	
生活支援員	有海 直美	介護福祉士
事務職員・支援員兼務	松原 中代	
看護職員 (非常勤)	上田 砂恵子	看護師
生活支援員	米倉 佳の子	介護福祉士

分場 しごと場大好き 国領

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
機能訓練指導員・援助主任	近田 真之	保育士 介護福祉士
生活支援員	渡辺 稚月・産休 三井 春美・代替	
生活支援員	松尾 安由美	

12. 職員研修計画

職員個々に応じたキャリアアップを実感できる研修を実践していきます。

13. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないます。

Ⅲ 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営 【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 20名 現員24名

職員定数

所 長 (管理者)	1名 (常勤)
サービス管理責任者	1名 (常勤・所長兼務)
職業指導員	3名 (非常勤 3名)
生活支援員	3名 (常勤 2名、非常勤1名)
目標工賃達成指導員	1名 (常勤)

1. 事業運営基本計画

指定就労継続支援 (B型) の事業は、通所メンバー (以下メンバーとする) が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第六条の十第二号に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

今年度は、開設12年目を迎え手直しが必要になっている外壁の改修工事を都の中規模改修補助金の活用で実施したい。また、地元でのオリンピック、パラリンピック開催の年にあたり、関連し

た作業、商品の開発を視野に入れて工賃の向上を目指します。

3. メンバーの処遇

(1) 生産活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にしながら生産活動を行います。

(2) 生活指導

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(3) 職業訓練指導

就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供を行います。その中で施設外就労による訓練も行っています。

(4) ケース会議 * 就労継続B型と合同開催

継続して毎週のケース会議を課題検討 30 分、過去の課題検証 30 分の形式で行います。課題検証では、3 週前の課題の成果について検証を漏れなく行いました。結果、改善へ繋げられないまま積み残す課題が減少しました。継続して行います。

4. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる行政からの委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培います。施設外就労にも積極的に取り組んでいきます。(牛乳パック回収、公園清掃、メール交換、ポスティング、水道メーター分解、駐輪場散水、クリーンセンター清掃)

(2) 自主製品事業

創作活動(芸術活動)とその販売を通して、地域への障害者理解の促進と働くことへの意欲を喚起します。都運営の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売や障害者アート展にも積極的に取り組みます。(陶芸、組み紐、ポストカード他)

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店、福祉ショップ営業(カフェ大好き)での仕事を通して一般就労に必要な知識、能力を養い、適性にあった職場への就労を促進します。

(4) 食品加工事業

食品製造、加工、販売を通しての一般就労に必要な知識、能力を養い、適性にあった職場への就労を促進します。また食品表示の改定、消費税の増税が予定される中、適正に対処できるよう、準備に取り組めます。(カフェ大好きでの販売食品、菓子の製造、加工)(ジェラートの製造、加工、販売)

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施します。

所長	総指揮
生活支援員	救助担当・連絡・報告担当
目標工賃達成指導員	救助担当・連絡・報告担当
職業指導員	消火・救助担当

6. 日 課

職員出勤	8 : 3 0
通所	9 : 0 0
打合せ・準備	9 : 1 5
作業開始	9 : 1 5 ~ 1 2 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0
作業開始	1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
作業終了・片付け・掃除	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 4 5
打合せ・帰宅準備・帰宅	1 5 : 4 5 ~ 1 6 : 0 0
送迎	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 4 5
職員打合せ	1 7 : 1 5 ~ 1 7 : 3 0
閉所	1 7 : 3 0

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員 *生活介護事業所と合同開催

9. リスクマネジメント委員会 *生活介護事業所と合同開催

10. みんなを守ろう委員会 *生活介護事業所と合同開催

11. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 *生活介護と兼務 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
職業指導員 *グループホーム管理者と兼務	内田 喜則	
生活支援員 *カフェ大好き店長	後藤 朋子	
生活支援員	小星 牧古	社会福祉士
生活支援員	廣末 可奈子	
目標工賃達成指導員	守屋 茉耶	
職業指導員	高木 里美	
職業指導員	小林 美菜子	

12. 職員研修計画

キャリアアップが実感できる研修体制の実施に取り組みます。

13. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないません。また、財政状況を見極めながら修繕、工賃等の積立金を継続して行きます。

【出張所「カフェ大好き」】

所在地 東京都調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F

1. 基本方針

- (1) 市民と直に接する機会を積極的に持ち、市民に理解を求めるとともに多くの社会的体験を得る場とする。
- (2) 地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売する場とする。
- (3) 就労をした障碍のある仲間が、帰宅途中気がねなく立ち寄り、英気を養える場となるよう努める。
- (4) 週末に営業することで、障碍のある仲間の余暇活動をサポートする場となるよう努める。
- (5) 地域に根ざした活動をする。
- (6) 就労継続支援施設B型「しごと場大好き」の出張所として、就労を目指す仲間が、ここを足がかりに就労に結びつくような支援を行う。

2. 今年度方針

4月に中長期計画に沿って、机椅子の買い替えや店頭テント張り替え、エアコン入れ替えなどともなうリニューアルオープンを行いました。お客様も前年度より増え、効果がみられています。継続して、お客様が楽しみに来店できるようなイベントなど検討していきます。

また、昨年度の課題だった原価計算の見直しを早急に行い、適正な価格への変更を検討していきます。

以上のような実践を通して売上を向上させ、メンバー職員ともに生き生きと働き、お客様にも喜んで頂けるお店づくりを目指します。

3. 事業

(1) 事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

新メニューや季節イベントを検討し、お客様に楽しんで頂けるようなお店づくりを目指し、売上向上に取り組みます。

昨年度の検討課題だったメニュー価格も原価計算を見直し、適正価格への移行を検討します。

②福祉ショップ事業

地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売します。引き続き常設スペースを設置し、定期的な納品がされるよう働きかけていきます。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

C a f eの無料ギャラリーを地域住民に一般開放し、展示会等の文化的活動の発信の場として取

り組んでいきます。また、「ひだまりサロン」事業に会場提供することで一般市民の社会交流の場作りに引き続き協力します。

(2) 利用者の処遇

- ①常時十分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけます。
- ②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけます。(加齢への対応、積極的な調理への参加等)
- ③安定した工賃収入が得られるよう努力します。
- ④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにします。

(3) メンバー会議

しごと場大好きの日曜日の取り組みに合同で参加します。

(4) 広報・情報提供活動

- ①ホームページを活用して、カフェ大好きな展覧会の情報等を発信します。
- ②ブログを日常的に更新します。また、フェイスブックの利用も検討します。

4. 運営・管理

(1) 運 営

出張所として、適正な運営を行います。

(2) 資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないます。

(3) 衛生管理

- ①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちます。
- ②手洗いや爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めます。
- ③食品の取り扱いには充分注意します。
- ④定期的に衛生管理チェックを行います。検便を年2回実施します。(4月・10月)

(4) 保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めます。

(5) 防災計画

防災計画を作成するとともに、避難訓練を実施します。

(6) 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置きます。

苦情対応マニュアルに基づき、迅速な対応を心がけます。

(7) 第三者委員

三田 恵美(特別支援学校教員) 伊藤 正子(元特別支援学校教員)の2名を置きます。

4月29日(祝)大好き市と年2回「おはなし聞きますよ」の相談日を設け、メンバー・家族の相談を受けます。しごと場大好きの機会を利用して相談を受けます。

(8) 施設間の連絡調整

- ①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図ります。
- ②全国喫茶コーナー交流会の活動に積極的に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう努力します。

(9) 研 修

喫茶店業務に従事する上で必要な知識、技術を学ぶための研修実施を企画検討します。また、しごと場大好きな社会体験活動の時間を利用してメンバーとともに市内の他の福祉喫茶見学を行い、新たな気付きを得るようにします。

IV 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営

所在地 東京都調布市布田1-14-2

利用定員 4名 区分4:2名、区分3:2名

職員数

- | | |
|-------------|----------------------|
| 一 所 長 (管理者) | 1名 (常勤) |
| 二 サービス管理責任者 | 1名 (兼務: 常勤の生活支援員と兼務) |
| 三 生活支援員 | 2名 (常勤1名・非常勤1名) |
| 四 世話人 | 4名 (非常勤) |

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地ゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

次年度はじめに移転を控え、移転のための準備の一年として、居住者家族と共に場所の選定から建設に係る内容まで、相談をしながらより良い移転先を探して、今年度末には移転が完了するようにします。

3. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。

4. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整
等生活に必要な援助

5. 防災計画

DAISUKI防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

所長 総指揮（防火管理責任者）
生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当
世話人 救助担当・消火担当

6. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231
苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022（法人本部）を置く

7. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費（朝食300円、昼食300円、夕食600円）
家賃：42,000円 光熱水費、日用品費、雑費など実費

8. 職員名簿

職名	氏名	資格
所長 (管理者) B型職業指導員と兼務	内田 喜則	
生活支援員 (サービス管理責任者)	山口 寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人	三宅 八江子	ホームヘルパー1級 介護福祉士 介護支援専門員
世話人	桜井 洋子	ホームヘルパー2級 介護福祉士
世話人	小島 良太	
世話人	新井 久美子	
生活支援員	有海 直美	介護福祉士

9. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかさないです。

10. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

V 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営

所在地 東京都調布市染地2-27-6

利用定員 5名 区分6：1名、区分5：2名、区分3：2名

職員数

- | | |
|-------------|--------------------|
| 一 所長（管理者） | 1名（常勤） |
| 二 サービス管理責任者 | 1名（兼務：常勤の生活支援員と兼務） |
| 三 生活支援員 | 7名（常勤1名・非常勤6名） |
| 四 世話人 | 5名（非常勤 内1名兼務） |
| 五 看護職員 | 1名（非常勤・兼務） |

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じた共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。

3. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整
等生活に必要な援助

4. 防災計画

DAISUKIパンプキン防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

所長 総指揮（防火管理責任者）

生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当

世話人

救助担当・消火担当

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022（法人本部） を置く

6. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費（朝食300円、昼食300円、夕食600円）

家賃：61,200円 水光熱・電話・jcom費、日用品費、事務用品費など実費

7. 職員名簿

職名	氏名	資格
所長 (管理者) B型職業指導員と兼務	内田 喜則	
生活支援員 (サービス管理責任者)	山口 寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人(兼務)	三宅 八江子	ホームヘルパー1級 介護福祉士 介護支援専門員
世話人(兼務)	桜井 洋子	ホームヘルパー2級 介護福祉士
世話人	織田 麗子	
世話人	高橋 由美子	介護福祉士
生活支援員	原田 美由紀	
生活支援員	小林 千穂	
生活支援員	師井 佳子	介護福祉士
生活支援員	原 泉	
生活支援員 (世話人を兼務)	来田 めぐみ	
生活支援員	上田 早苗	
看護師(兼務)	上田 砂恵子	看護師

8. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

9. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

VI その他の事業・活動

1. 障害者の社会参加を支援する活動

(1) 交流活動（年間を通して随時）

四季折々の行事で障害者と市民とが交流する機会を設けます。

2. 広報・情報提供活動

(1) 会報の発行等

会報を発行、配布することで広く法人の活動を知ってもらえるようにします。

(2) 情報提供活動

ホームページを活用し、法人のリアルタイムな情報を提供できるようにします。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

(1) 「それはおしゃれなコンサート（第28回）」の実施

日時：2021年1月9日(土)会場：調布市文化会館たづくり くすのきホール

障害の有無にかかわらず、身近な地域で本格的なコンサートを共に楽しむことを目的としたコンサートを開催します。

4. 協力・連携事業

(1) バザーの実施

(2) 文化的活動の実施

(3) 他団体等への支援・協力活動の実施

VII. 組織運営

1. 組織運営

社会福祉事業 「しごと場 大好き」・「カフェ 大好き」・「しごと場大好き国領」グループホーム「DAISUKI」・グループホーム「パンプキン」を運営する態勢を整えるとともに、事業・活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図ります。

(1) 理事会、評議員会の開催 *予定

第1回理事会 6月6日(土)

第1回評議員会 6月27日(土)

第2回理事会 8月22日(土)

第3回理事会 11月21日(土)

第4回理事会 1月23日(土)

第5回理事会 3月13日(土) 第2回評議員会 3月27日(土)

※評議員会は、上記2回の他、必要に応じて理事会が招集する。

(2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務部門の体制の確立を目指して、職務分掌の洗い出し、年間のスケジュール化等を行い、法人監査が滞りなく終わるように未整備部分の手直しを行います。

(3) 市民の参画を得るための委員会の確立

バザーやコンサートなど一般市民と共に行事を企画段階から作り上げていきます。

(4) 理事・監事、評議員の研修実施

適正な運営をするため、役員の研修の機会を設けます。

2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めます。

(1) バザー等の計画的実施

一般市民の方々から提供いただいた品物をリサイクル販売するチャリティーバザーを実施します。

2020年度 予算内訳表
(自)令和 2年 4月 1日(至)令和 3年 3月31日

2020年3月時点 (単位:円)

勘定科目	法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収入					
就労支援事業収入	21,244,000		7,643,000	13,601,000	
受託事業収入	8,520,000		4,470,000	4,050,000	
喫茶事業収入	5,527,000			5,527,000	
自主製品事業収入	907,000		466,000	441,000	
菓子、調理製造事業収入	3,061,000		1,318,000	1,743,000	
アイスクリーム製造事業収入	2,259,000		849,000	1,410,000	
簡易受託受注事業収入	710,000		430,000	280,000	
仕入れ商品売り上げ収入	260,000		110,000	150,000	
障害福祉サービス等事業収入	151,965,000		68,890,000	49,845,000	33,230,000
自立支援給付費収入	124,145,000		59,730,000	39,895,000	24,520,000
介護給付費収入			59,730,000		
訓練等給付費収入	39,895,000			39,895,000	
利用者負担金収入			360,000		
特定費用収入					8,710,000
その他の事業収入	18,750,000		8,800,000	9,950,000	
補助金事業収入	18,750,000		8,800,000	9,950,000	
借入金利息補助金収入	262,000		112,000	150,000	
経常経費寄附金収入	5,945,000	2,000,000	3,280,000	665,000	
受取利息配当金収入	95,000	88,000	2,000	3,000	2,000
その他の収入	4,530,000	2,500,000	874,000	1,024,000	132,000
受入研修費収入	48,000		24,000	24,000	
利用者等外給食費収入					125,000
雑収入	4,356,000	2,500,000	850,000	1,000,000	6,000
雑収入	4,356,000	2,500,000	850,000	1,000,000	6,000
その他					1,000
事業活動収入計(1)	184,041,000	4,588,000	80,801,000	65,288,000	33,364,000
事業活動による収支					
支出					
人件費支出	115,795,000		55,681,000	38,927,000	21,187,000
職員給料支出	55,831,800		26,010,000	25,263,800	4,558,000
職員賞与支出	11,124,200		5,000,000	5,007,200	1,117,000
非常勤職員給与支出	34,016,000		16,016,000	3,500,000	14,500,000
退職給付支出	1,490,000		1,000,000	445,000	45,000
法定福利費支出	13,333,000		7,655,000	4,711,000	967,000
事業費支出	12,252,000		3,129,000	5,318,000	3,805,000
給食費					2,150,000
保健衛生費支出	300,000		130,000	170,000	
被服費支出	8,000		8,000		
教養娯楽費支出	1,270,000		450,000	800,000	20,000
水道光熱費支出	4,408,000		1,138,000	2,060,000	1,210,000
消耗器具備品費支出	888,000		180,000	428,000	280,000
保険料支出	1,039,000		400,000	514,000	125,000
賃借料支出	277,000		88,000	189,000	
教育指導費支出	380,000		150,000	230,000	
葬祭費支出	20,000		10,000	10,000	
車輛費支出	1,304,000		500,000	795,000	9,000
雑支出	116,000		25,000	80,000	11,000
地域交流費支出	92,000		50,000	42,000	
事務費支出	30,860,000	1,884,000	14,444,000	6,531,000	8,001,000
福利厚生費支出	164,000		82,000	75,000	7,000
職員被服費支出	30,000			30,000	
旅費交通費支出	233,000	200,000	20,000	13,000	
研修研究費支出	64,000		50,000	14,000	
事務消耗品費支出	1,022,000	100,000	409,000	206,000	307,000
印刷製本費支出	239,000	210,000	10,000	19,000	
修繕費支出	10,950,000		10,110,000	840,000	
通信運搬費支出	1,016,000	25,000	308,000	220,000	463,000
広報費支出	160,000	25,000	80,000	55,000	
業務委託費支出	2,520,000		1,100,000	1,420,000	
その他の委託費支出	2,520,000		1,100,000	1,420,000	
手数料支出	107,000	5,000	39,000	49,000	14,000
保険料支出		64,000			
土地・建物賃借料支出	10,699,000		660,000	2,839,000	7,200,000
租税公課支出	759,000	39,000	320,000	400,000	
保守料支出	356,000	11,000	145,000	200,000	
渉外費支出	10,000			10,000	
諸会費支出	30,000	5,000	10,000	15,000	
雑支出	2,427,000	1,200,000	1,091,000	126,000	10,000
共催財団退職金掛け金支出			1,000,000		
雑支出(事務)	1,427,000	1,200,000	91,000	126,000	10,000
就労支援事業支出	21,244,000		7,643,000	13,601,000	
就労支援事業販売原価支出	21,244,000		7,643,000	13,601,000	
就労支援事業支出	21,244,000		7,643,000	13,601,000	
支払利息支出	262,000		112,000	150,000	
その他の支出	8,000		3,000	5,000	
利用者等外給食費支出	8,000		3,000	5,000	
事業活動支出計(2)	180,421,000	1,884,000	81,012,000	64,532,000	32,993,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,620,000	2,704,000	△ 211,000	756,000	371,000

2020年度 予算内訳表
 (自)令和 2年 4月 1日(至)令和 3年 3月31日

2020年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入	5,000,000		5,000,000		
	施設整備等補助金収入	5,000,000		5,000,000		
	施設整備等収入計(4)	5,000,000		5,000,000		
	支出					
	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000		784,000	756,000	
固定資産取得支出	4,000,000		4,000,000			
車両運搬具取得支出	4,000,000		4,000,000			
器具及び備品取得支出						
施設整備等支出計(5)	5,540,000		4,784,000	756,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 540,000		216,000	△ 756,000		
その他の活動による収支	収入					
	その他の活動収入計(7)					
	支出					
	その他の活動による支出	5,000		5,000		
	長期前払費用支出	5,000		5,000		
	その他の活動支出計(8)	5,000		5,000		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 5,000		△ 5,000			
予備費支出(10)						
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	3,075,000	2,704,000			371,000	
前期末支払資金残高(12)						
当期末支払資金残高(11)+(12)	3,075,000	2,704,000			371,000	

一年間の活動日誌

2019年4月1日～2020年3月31日

法人本部の活動

- | | |
|--|--|
| <p>4</p> <p>20 会報発送〈No.163〉
22 事務局会議①
23 コンサートプロジェクト①</p> | <p>5</p> <p>20 事務局会議②
26 内部監事監査</p> |
| <p>6</p> <p>1 理事会①
22 評議員会①・会報発送〈No.164〉
24 事務局会議③</p> | <p>7</p> <p>25 第4期将来構想プロジェクト①
30 事務局会議④</p> |
| <p>8</p> <p>8 バザープロジェクト①
10 夏季休業（～15日）
24 会報発送〈No.165〉
26 事務局会議⑤
27 暑気払い 主催：支える会
29 バザープロジェクト②
31 理事会②</p> | <p>9</p> <p>17 コンサートプロジェクト②
11 第4期将来構想プロジェクト②
19 事務局会議⑥
バザープロジェクト③</p> |
| <p>10</p> <p>10 バザープロジェクト④
19 会報発送〈No.166〉
23 第4期将来構想プロジェクト③
28 事務局会議⑦
31 バザープロジェクト⑤</p> | <p>11</p> <p>9 ジャングルバザー2019 於：調布駅前広場
16 理事会③
19 コンサートプロジェクト③
20 第4期将来構想プロジェクト④
27 事務局会議⑧
28 バザープロジェクト⑥</p> |
| <p>12</p> <p>7 第5回将来構想拡大プロジェクト
14 会報発送〈No.167〉・忘年会
28 冬季休業（～1月5日）</p> | <p>1</p> <p>7 コンサートプロジェクト④
11 第27回それはおしゃれなコンサート於：調布市たづくりくすのきホール
13 成人を祝う会 主催：こぶしの会
15 第4期将来構想プロジェクト⑤
16 事務局会議⑨
18 理事会④
31 GH移転プロジェクト</p> |
| <p>2</p> <p>1 第27回餅つき会
13 GH移転プロジェクト
15 会報発送〈No.168〉
26 第4期将来構想プロジェクト⑥</p> | <p>3</p> <p>2 事務局会議⑩
16 事務局会議⑪
19 理事会⑤
28 評議員会②</p> |

しごと場大好き

- | | |
|---|---|
| <p>4</p> <p>1 通所式・お花見
3 職員会議
9 しごと場健康診断①
10 下半期特別ボーナス支給
11 ケース会議（以降毎週水曜日定例開催）
15 社会体験活動-買物・メンバー会議・誕生会
リスクマネジメント委員会①
16 ドクターの健康チェック
20 ファミリー
22 社会体験活動-グループ活動
29 第43回 大好き市
「お話し聞きますよ」（第三者委員）</p> | <p>5</p> <p>8 職員会議
9 三菱研修生受入れ
11 アースデイ出店
12 親子まつり出店
13 リスクマネジメント委員会②
14 しごと場健康診断②
18 パルコ前販売会（～19日）
20 遠足 於：NHKスタジオパーク
リスクマネジメント委員会③
25 ジャイアンツ球場「調布市民の日」出店
ファミリー・支える会総会
26 みんなのまつり 組み紐実演</p> |
|---|---|

6

- 1 環境フェア出店・フードドライブ参加
- 4 しごと場健康診断③
- 5 職員会議
- 7 運動会（調布市福祉作業所等連絡会主催）
- 9 希望の家地域のつどい出店
- 10 音楽療法
- 11 ドクターの健康チェック
- 15 スクラムフェスタ出店
- 味スタ感謝祭出店
- 17 社会体験活動-工場見学
- けやきの森学園実習生受入れ（～7/15日）
- リスクマネジメント委員会③
- 22 ファミリー
- 23 調布音楽祭出店（29・30日）

7

- 1 音楽療法
- 3 職員会議
- 7 深大寺朝市出店
- 8 リスクマネジメント委員会④
- 10 夏期ボーナス支給
- 12 ボーナス飲み会
- 13 ほりで～ぶらん
- 15 市民プールジェラート出張販売開始
- 20 けやきの森学園夏祭り出店
- 22 社会体験活動-プール
- 23 研修-調布市福祉人材センター初任者研修（1名参加）
- 27 ファミリー・暑気払い
- 28 多摩川住宅団地祭り出店
- 29 社会体験活動-プール
- 31 「お話し聞きますよ」（第三者委員）

8

- 1 研修-総合福祉研究会社会福祉会計簿記講座（1名参加）
- 2 杉森まつり出店（・3日）
- 3 クレストンホテル販売
- 4 観光フェスタ出店・ほりで～ぶらん
- 5 社会体験活動-プール
- 7 職員会議
- 研修-調布市福祉人材センター中堅研修（1名参加）
- 10 グローバルフェスタ出店・ラグビー体験
- 夏期休暇（～15日）
- 11 平和のつどい出店
- 12 ボーナス飲み会
- 13 ほりで～ぶらん
- 19 社会体験活動-プール
- リスクマネジメント委員会⑤
- 21 支援計画会議（・28日）
- 24 ファミリー・ほりで～ぶらん
- 26 社会体験活動-プール
- 27 ドクターの健康チェック
- 29 組み紐サークル展（～31日）

9

- 2 音楽療法
- 4 職員会議
- 5 防災訓練
- 7 第7回「ほっとハート」三市合同販売会in調布
- 9 リスクマネジメント委員会⑥
- 10 研修-東京都福祉保健局「食品表示法について」（1名参加）
- 12 内部研修「メンバーの特性考察・支援の方向性①」（17名参加）
- 14 商工まつり出店
- 19 みんなを守ろう委員会（虐待防止委員会）①
- 20 スクラムフェスタ出店
- 21 ファミリー
- 28 桐朋学園文化祭出店（・29日）
- 30 社会体験活動-グループ活動
- 慈恵医大実習生受入れ（～10/4日）
- リスクマネジメント委員会⑦

10

- 2 職員会議
- 4 老人クラブ連合会芸能大会出店
- 5 秋宿泊 於：山梨県市和（・6日）
- 7 合宿代休
- 8 ドクターの健康チェック
- 10 上半期特別ボーナス支給
- 15 研修-調布市福祉人材センター車イスの移動・移乗の技術研修（4名参加）
- 17 みんなを守ろう委員会（虐待防止委員会）②
- 19 ファミリー
- スクラムフェスタ（・20日）
- 21 リサイクル連絡会研修旅行 於：神奈川県平塚市 特定非営利活動法人トムトム
- 28 社会体験活動-買物

11

- 1 スクラムフェスタ出店
- 5 「お話し聞きますよ」（第三者委員）
- 6 職員会議
- 9 ジャングルバザー出店
- ほりで～ぶらん
- 11 メンバー会議
- 研修-東京都福祉人材センター人事管理研修（1名参加）
- 12 施設交換研修-希望の家（1名参加）
- 14 みんなを守ろう委員会（虐待防止委員会）③
- 16 ファミリー
- 17 福祉のお仕事面接会
- 18 音楽療法
- 23 ゲゲゲ急出店（・24日）
- 24 ほりで～ぶらん
- 25 社会体験活動-紅葉会
- リスクマネジメント委員会⑧
- 26 インフルエンザ予防接種①
- 30 福祉まつり出店

12

- 2 大掃除・メンバー会議
- 3 インフルエンザ予防接種②
- 4 職員会議
- バラアート展（～11日）
- 8 足で絵を描こう参加・フードドライブ参加
- 9 社会体験活動-グループ活動
- 交換研修受入れ
- 10 冬期ボーナス支給
- 14 ファミリー・調布まつり出店
- 16 社会体験活動-買物
- リスクマネジメント委員会⑨
- 17 ドクターの健康チェック
- 19 交換研修
- 23 クリスマス会
- 27 大掃除・納会カラオケ
- 28 冬季休暇（～1月3日）

1

- 6 仕事始め
- 8 職員会議
- 9 みんなを守ろう委員会（虐待防止委員会）④
- 15 リスクマネジメント委員会⑩
- 18 ほりで～ぶらん・ファミリー
- 20 社会体験活動-グループ活動
- 市役所ロビー展（～31日）
- 22 「お話し聞きますよ」（第三者委員）
- 23 内部研修「メンバーの特性考察・支援の方向性②」（14名参加）
- 27 音楽療法
- 施設交換研修-まなびや（1名参加）

2

- 3 生け花体験（国際ソロプチミスト東京-調布）・防災訓練
- 5 職員会議
- 6 フードドライブ参加
- 12 リスクマネジメント委員会⑪
- 13 ごみカレンダー配布（～3/12日）
- 14 しごと場大好き国領防災訓練
- 15 ファミリー
- 17 研修-東京都福祉人材センター育成セミナー（1名参加）
- 18 ドクターの健康チェック
- 22 冬合宿 於：富士見高原スキー場（～23日）
- 27 みんなを守ろう委員会（虐待防止委員会）⑤

3

- 4 職員会議
- 9 音楽療法
- リスクマネジメント委員会⑫
- 11 作業療法士来所
- 支援計画会議①
- 13 個別面談開始
- 16 社会体験活動-グループ活動
- 18 支援計画会議②
- 20 2019年度総括会議
- 23 メンバー会議
- 30 社会体験活動-ドライブ&ウォーキング

Cafe大好き

4 ギャラリー企画「杉本勝 水墨画展」

- 2 カフェ大好き リニューアルオープン!
- 5 やさしい写真教室
- 10 下半期特別ボーナス支給

5 ギャラリー企画「グループKUL展」

- 10 やさしい写真教室
- 25 ボランティア体験受入れ

6 ギャラリー企画「アトリエMAKO展」

- 4 健康診断
- 10 らっきょう漬け(こぶしの会)
- 14 やさしい写真教室
- 15 カフェ大好き23周年セール(～16日)

7 ギャラリー企画「ミックスリーブス 手しごと展」

- 10 夏期ボーナス支給
学生体験実習受入れ(・11日)
- 11 教育委員会視察
- 12 やさしい写真教室

8 ギャラリー企画「組みひも展」

- 2 やさしい写真教室
- 3 クレストンホテル「カレーフェア&福祉作業所販売会」出店
- 4 組み紐ワークショップ
- 10 夏期休業(～15日)
- 27 全国喫茶コーナー交流会実行委員会

9 ギャラリー企画「MIEN展」

- 5 防災訓練(避難所・避難経路確認)
- 6 やさしい写真教室

10 ギャラリー企画「愛染てらにしピース展」

- 4 やさしい写真教室
- 10 上半期特別ボーナス支給

11 ギャラリー企画「SPARK STONE展」

- 1 やさしい写真教室
- 8 下石原地域のつどい出店
- 9 ジングルバザー出店
- 23 おしゃれなバザー 主催:こぶしの会

12 ギャラリー企画「ミックスリーブス展・パラアート展」

- 6 やさしい写真教室
- 9 喫茶コーナー交流会実行委員会
- 10 冬期ボーナス支給
- 13 交換研修受入れ
- 27 大掃除・納会カラオケ
- 28 冬季休業(～1月3日)

1 ギャラリー企画「パラアート展」

- 10 やさしい写真教室

2 ギャラリー企画「多摩川書道教室作品展」

- 7 やさしい写真教室
- 14 防災訓練(避難所・避難経路確認)
- 22 冬合宿 於:富士見高原スキー場(～23日)

3 ギャラリー企画「杉本勝 水墨画展」

- 6 やさしい写真教室
- 23 「三沢川いきものがたり」上映会
- 28 週末営業自粛の為、土・日臨時休業(～4/5日)



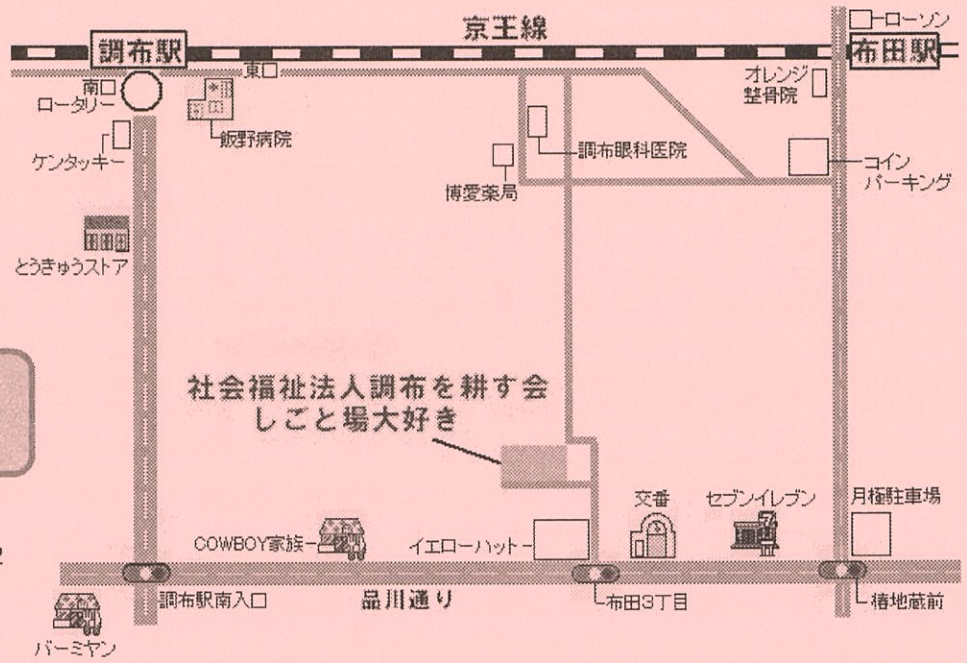
2020年度 役員体制

2020年8月現在

役職名	氏 名	所 属 等
理 事 長	原 良男	元民生児童委員・保護司
理 事	杉本 勝	元民生児童委員
理 事	増淵 貞夫	利用者保護者
理 事	山口 祐二	民生児童委員
理 事	西尾 宅司	利用者保護者
理 事	朝日 敏幸	調布市社会福祉協議会職員
理 事	亀田 良一郎	「しごと場大好き」施設長
評議員	石井 和男	弁護士
評議員	市村 研一	調布市社会福祉協議会職員
評議員	宮崎 豊和	会社役員
評議員	荘司 信芳	布田西部自治会会計
評議員	深見 圭子	「しごと場大好き」組みひも講師
評議員	普後 均	利用者保護者
評議員	長谷川 廉	医師
評議員	渡辺 榮	利用者保護者（こぶしの会）
評議員	尾崎 洋子	利用者保護者（こぶしの会）
監 事	大村 洋	地域福祉関係者
監 事	堀内 悟	利用者保護者

■事務局スタッフ

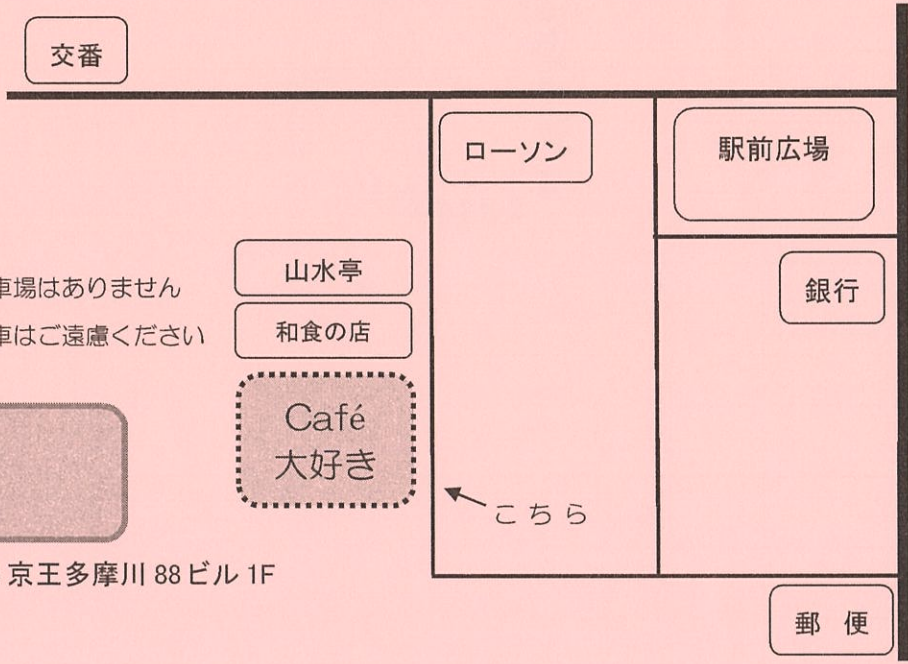
役職名	氏 名	所 属 等
事務局長	内田 喜則	グループホームDAISUKI所長
事務局員	後藤 朋子	Café大好き 店長



しごと場大好き

東京都調布市布田 3-20-1
tel042-486-1022 fax042-486-0232

京王相模原線 ← 至橋本 京王多摩川 → 至調布



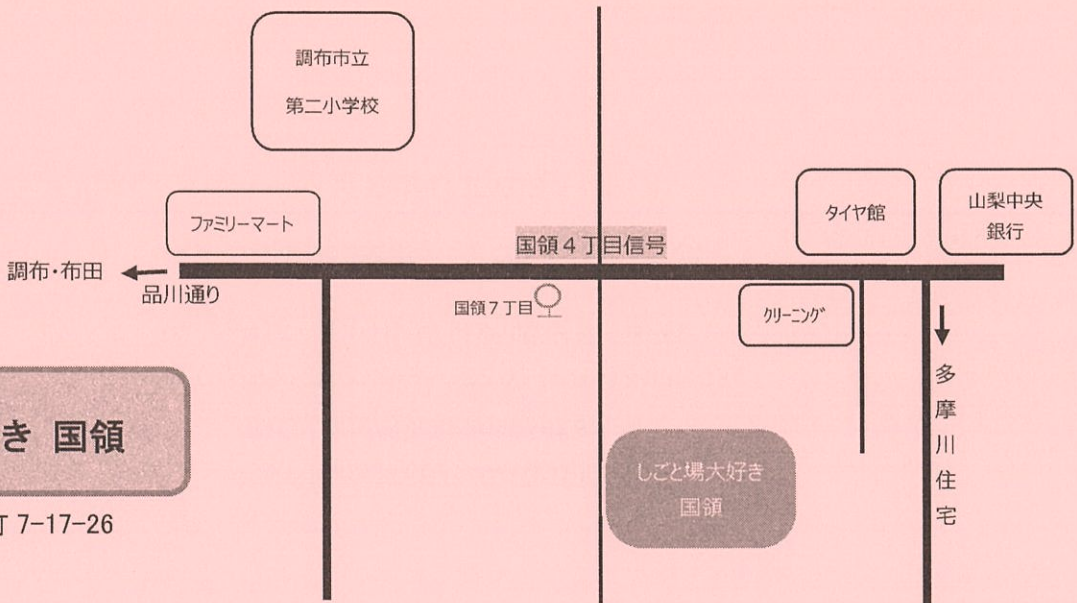
カフェ大好き

東京都調布市多摩川 5-7-4 京王多摩川 88ビル 1F
tel/fax042-481-3933

*駐車場はありません
お車はご遠慮ください

しごと場大好き 国領

東京都調布市国領町 7-17-26
tel/fax042-444-3733





2020年8月

社会福祉法人 調布を耕す会

住所 東京都調布市布田3-20-1

TEL 042(486)1022 FAX 042(486)0232

✉ tagayasukaijp@yahoo.co.jp

HP <http://www.tagayasukai.com>